

提案書記載依頼事項

評価点	評価項目			記載項目一覧(案)	調達仕様書に係る 主な該当箇所	得点配分		
	大項目	中項目	小項目			重み	項目点	最高点
技術点	1 本業務の目的・主旨・目的	1.1 本業務に対する理解	1.1.1 本業務の目的・概要についての理解	1. 本業務の目的等を踏まえて、本調達に対する事業者（以下「提案者」という。）の理解を記載すること。 2. 上記を踏まえて、提案者における本調達の取組方針を記載すること。	1. 本業務の背景と目的 2. 本業務の内容	2	10	5%
			1.1.2 システム化の実現方針	1. 「1.1.1. 本業務の目的・概要についての理解」を踏まえた上で、システム化の実現方針を具体的に記載すること。 2. 提案するシステム化の実現方針の特徴、当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、具体的な根拠をもって記載すること。	1. 本業務の背景と目的 2. 本業務の内容	4	20	
	2 提案者に関する情報	2.1 提案者の概要	2.1.1 提案者に関する概要	1. 提案者に関する概要（会社概要、主要業務等）を記載すること。	－	1	5	
			2.1.2 導入実績	1. 提案者の過去の類似案件について、当該実績（大学病院・大規模医療機関等）、実施時期・期間（構築・運用）、サービス内容（対象ネットワーク・規模）等を具体的に記載すること。 ・提案者が上記実績を有することにより、本業務を遂行するにあたってどのような特徴を有しているか、当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について具体的な根拠をもって記載すること。 － 大学病院、大規模医療機関（許可病床400床以上）等への院内ネットワーク基盤の構築・運用実績 － 病院情報システムに係るネットワーク基盤（HIS系・共通系等の複合ネットワーク）の更新実績	－	1	5	
			2.1.3 参加資格等	1. 「入札説明書」で求める参加資格要件を満たしている具体的な根拠を記載すること。 2. 上記以外に、本業務を遂行するにあたって、提案者が有している有用な資格について、具体的に記載すること。	－（入札説明書に基づく）	1	5	
		2.2 業務推進体制	2.2.1 業務推進体制・責任者（構築、運用保守）	1. 本業務を推進するにあたって、提案者側の体制、及び要員の役割・実績を記載すること（再委託する場合、委託先の企業名（団体名）、再委託する業務範囲、業務を再委託することが必要不可欠である理由を具体的に記載すること）。なお、構築、運用保守のそれぞれを記載すること。 2. 提案する業務推進体制が当院にとって有用であることを具体的に記載すること。 3. 本業務期間中に、提案した体制を維持することが可能であることを根拠を具体的に記載すること。 ＜例＞ － プロジェクトマネージャがPMP又はプロジェクトマネージャ試験の資格を有すること － ネットワークチーム責任者がネットワークスペシャリスト試験の資格を有すること － 600床規模以上の電子カルネネットワーク工事経験を有する現場代理人の配置 － 他団体（特に大学病院や大規模医療機関（許可病床400床以上））での経験 － 構築における業務推進体制は運用保守体制を考慮した体制であること － 当院と受託者間の調整等に用いるために採用するツールやドキュメントの明記 － 本プロジェクトにて遅延が発生した場合におけるリカバリ方法の明記 等	5.1.3 プロジェクト体制、5.1.4 プロジェクトに関わるステークホルダー、6.1.1 運用保守体制、6.1.2 運用保守工程に関わるステークホルダー	16	80	10%
			2.2.2 当院と事業者との役割分担/作業分担（構築、運用保守）	1. 本業務を推進するにあたり、当院と提案者の役割分担や作業割合について具体的に記載すること。特に、当院との窓口を担う業務遂行責任者（プロジェクトマネージャ）が、提案された業務推進体制を維持し、円滑にプロジェクトを推進するための具体的な取り組みについても記述すること。 2. 当院の作業負担を軽減するための有用な方法について、具体的な根拠をもって記載すること。 ＜例＞ － 当院の作業に関して、業務繁忙期を考慮することで負担軽減が図られている － 当院の実施する作業内容が明確に示されているとともに、負担軽減策が考慮されている － 電子カルテベンダ、部門システムベンダ、現行NW保守事業者等との連携・調整に関する負担軽減が図られていること － 役割分担がタスクレベル等の粒度で詳細化・明確化されていること 等	5.1.3 プロジェクト体制、5.1.4 プロジェクトに関わるステークホルダー、6.1.2 運用保守体制、6.1.2 運用保守工程に関わるステークホルダー	2	10	
	3 調達仕様書要件に対する提案	3.1 機能要件	3.1.1 基本的な考え方・方針（ネットワーク全体構成）	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 － 本要件を踏まえた院内ネットワークの全体構成図（論理構成図と物理構成図の両方） － HIS系ネットワーク・共通系ネットワーク・学術系ネットワークの構成と相互接続の考え方 － コススイッチを中心とした2階層構成、横間カブール接続等の物理設計方針 － 院内の通信要件（医用画像、ナースコール連携、スマートデバイス音声通話等）を踏まえた帯域設計の考え方 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	－	9	45	40%
			3.1.2 ネットワーク仮想化・セグメンテーション	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 各部門及び利用目的に応じたVLANによるセグメント分離の設計方針 － クラウド化（MACアドレス認証）による柔軟なネットワーク収容の実現方法 － セグメント間のファイアウォールによる経路制御及びアクセス制御ポリシーの設計方針 － 将来の運用拡張を見据えた論理ネットワーク変更の柔軟性 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.3 ファイアウォール	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 外部FW（外部・内部境界）及び内部FW（HIS系・学術系境界）の設計方針 － 提案する機能の特徴の実現と、投資対効果（コスト削減）を両立させるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.4 無線LAN環境の整備	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 無線LANコントロール及びRADIUSサーバによる集中制御型システムの設計方針 － 無線LANコントロール用兼通話のアクセスポイント自律動作による通信経路の考え方 － 病棟、外来、手術室等の各エリアにおける電波設計及び医療機器との干渉回避 － 提案する機能の特徴の実現と、投資対効果（コスト削減）を両立させるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.5 ネットワーク可視化・運用管理	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 仮想ネットワーク毎の使用帯域・アプリケーション分析等の可視化機能の実現方法 － 無線LANの電波出力状況（ヒートマップ）の分析機能 － 死活監視、パフォーマンス監視等を一元管理する監視装置の設計方針 － 障害検知時のアラート通知及びメール通知の実現方法 － 提案する機能の特徴の実現と、投資対効果（コスト削減）を両立させるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.6 可用性・冗長性の確保	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 24時間365日の診療業務を止めないための冗長化構成の考え方（機器冗長、経路冗長等） － 復旧の迅速性を担保するための予備機配置及び保守体制の考え方 － ナースコール連携・音声通話等のリアルタイム通信に対するQoS制御の方策 － 提案する機能の特徴の実現と、投資対効果（コスト削減）を両立させるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.7 セキュリティ対策	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等への準拠方針 － 不正端末接続防止（MACアドレス認証等）によるアクセス制御の実現方法 － リモート保守環境のセキュリティ確保（閉域接続、二要素認証、操作ログ保存 等） － ネットワーク機器・サーバに対する脆弱性情報の収集体制及びファームウェア更新の考え方 － インシデント発生時の対応体制、初動手順及び復旧方針 等 2. 当該要件に関して、提案する対策の特徴、当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
			3.1.9 拡張性・将来対応	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を中心に具体的に記述すること。 － 将来のシステム追加、端末増設、病棟再編等に伴うネットワーク拡張への対応方針 － 論理ネットワーク変更の柔軟性を確保するための設計上の考慮事項 － 本稼働後7年間の長期運用を見据え、市場の技術潮流に合わせてネットワークを進化させるための方策 等 2. 当該要件に関して、提案する機能の特徴、当該特徴が本院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	2. 本業務の内容 3. 機能要件 4. 非機能要件	9	45	
	3.2 構築業務	3.2.1 構築スケジュール		1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 － サーバ室ネットワーク先行構築からフロア等展開への段階的な構築計画 － 電子カルテシステムの開発・移行スケジュールとの整合を確保するための方策 － 本書切替に向けた準備計画 － 診療業務への影響を最小化するための施工計画の考え方 等 2. 当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	5. 業務委託要件	9	45	20%
			3.2.2 プロジェクト管理要件	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 － プロジェクト管理手法（進捗管理、品質管理、課題・リスク管理、変更管理）の実施方針 － 全体会議、レビュー会議、検討会議、連携会議の効率的な運営方法 － 提案者と当院のプロジェクトメンバーが円滑な協力体制を築きながら業務を推進していくための方策 － 電子カルテベンダ、部門システムベンダ、現行NW保守事業者、開発支援事業者（コンサル）等の連携先との各種調整を行うための方策 等 2. 当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	5. 業務委託要件	9	45	

評価点	評価項目				記述項目一覧（案）	調達仕様書に係る 主な該当箇所	得点配分			
	大項目	中項目	小項目	小項目			重み	項目点	最高点	
			3.2.3	設計・構築 ・テスト要件	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 現地調査・設計方針、基本設計、詳細設計、接続設計の各工程における品質確保の方策 - 現行電子カルテ・部門システムとの並行稼働を考慮した設計上の留意点 - 障害発生を想定したテスト（冗長系切替、自動復旧確認等）の実施方針 - 無線LAN環境の設置前後における電波調査の実施方法 - 当院の負担軽減策 等 2. 当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	5. 業務委託要件	9	45		
			3.2.4	ネットワーク 切替要件	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - サーバ室→フロア・拠点の段階的な切替計画と、新旧ネットワーク並行稼働期間の設計 - 診療業務を継続しながら切替を行うための具体的な方策 - 切替事後テストの計画（機器状態、疎通、冗長構成、認証、無線LAN接続、業務システム接続等の確認項目） - 事前リハーサルの実施方針 - 当院、電子カルテベンダ、現行NW保守事業者、部門システムベンダ等の役割分担 - 切戻し判断基準及び緊急対応計画（コンティンジェンシープラン）の考え方 等 2. 当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	5. 業務委託要件	9	45		
		3.3	運用保守	3.3.1	運用・保守要件	1. 仕様書に示す当該要件の実現方法や仕様を満たす根拠について、次の事項を含め具体的に記述すること。 - 運用保守計画に関する基本的な考え方 - 運用保守計画に対する年次の見直し改善の考え方 - SLAの設定方針（RTO5時間以内、戻りつけ30分以内等）と年次の見直し改善の考え方 - 改善活動（運用状況分析、トラフィック利用状況報告、未達項目の改善案提示等）の具体的な進め方 - 24時間365日の受付窓口開設及び障害検知後30分以内の現地駆けつけ体制 - 代表拠点（データセンター、本庁等）における24時間365日のハードウェア・ソフトウェア保守 - 予備機とセンドバック保守の組合せによるコスト最適化と迅速復旧の両立方策 - 電子カルテベンダ、部門システムベンダ、センター運用代行等の関係事業者との障害切分け及び連携体制 - ネットワーク監視（死活監視、パフォーマンス監視）環境の整備及びセンター運用代行との連携方法 等 2. 当該特徴が当院にもたらす効果（他事業者との比較優位性）について、根拠を具体的に記述すること。	6. 運用保守要件	36		180
	4	その他	4.1	追加提案	4.1.1	追加提案	-上記記載項目以外で、本業務実施にあたっての更なる工夫・有用な提案があれば、具体的に記載すること。 ・追加提案の実現に関し、根拠を具体的に記載すること。 ＜例＞ - ネットワークの通信状況をリアルタイムに可視化し、障害の予兆を検知する仕組み - AI/機械学習を活用したトラフィック分析による異常検知やキャパシティ予測 - ゼロラストセキュリティへの段階的な移行に資する提案 - 医療IoT機器の安全な接続管理を実現するためのネットワーク制御基盤 等	-	9	45
合計点							-	900	-	

提案書記載依頼事項（概要）

評価点	評価項目						得点配分			比重	
	大項目		中項目		小項目		重み	項目点	最高点		
技術点	1	本業務の 主旨・目的	1.1	本業務に対する 理解	1.1.1	本業務の目的・概要についての理解	2	10	30	5%	
					1.1.2	システム化の実現方針	4	20			
	2	提案者に関する 情報	2.1	提案者の概要	2.1.1	提案者に関する概要	1	5	15		
					2.1.2	導入実績	1	5			
					2.1.3	参加資格等	1	5			
			2.2	業務推進体制	2.2.1	業務推進体制・責任者 （構築、運用保守）	16	80	90	10%	
					2.2.2	当院と事業者との役割分担/作業分担 （構築、運用保守）	2	10			
					3	調達仕様書要件 に対する提案	3.1	機能要件	3.1.1		
	3.1.2	ネットワーク仮想化・セグメンテーション	9	45							
	3.1.3	ファイアウォール	9	45							
	3.1.4	無線LAN環境の整備	9	45							
	3.1.5	ネットワーク可視化・運用管理	9	45							
	3.1.6	可用性・冗長性の確保	9	45							
	3.1.7	セキュリティ対策	9	45							
	3.1.8	拡張性・将来対応	9	45							
	3.2	構築役務	3.2.1	構築スケジュール	9	45	180	20%			
			3.2.2	プロジェクト管理要件	9	45					
			3.2.3	設計・構築・テスト要件	9	45					
			3.2.4	ネットワーク切替要件	9	45					
	3.3	運用保守	3.3.1	運用・保守要件	36	180	180	20%			
	4	その他	4.1	追加提案	4.1.1	追加提案	9	45	45	5%	
技術点合計								900	900	100%	
価格点合計								300	－	－	
総合計								1,200	－	－	